

おぎが

議会だより

第114号 2020.10.10



contents

～定例 9 月会議を中心に～

令和元年度決算審査	2～
新型コロナウイルス感染症対策第2弾（補正予算）	8～
小値賀交通株式会社からの報告	10
一般財団法人小値賀町担い手公社からの報告	11
本会議の様様 You Tube で見られます！	12

定例9月会議

令和2年9月10日～9月18日

日程をずらし短縮して決算審査

台風直後の定例9月会議 令和元年度決算を認定

台風直後のため一般質問は取り下げ

今回の定例会の直前に台風9号と10号が立て続けに近くを通過し、家屋や牛舎などに大きな被害が出ました。

被害対応などに小値賀町

全体が追われていることから、急ぎよ、定例会の日程を繰り下げ、短縮して開催することとしました。

なお、当初予定されていた今田光弘議員の「県道の管理（草刈り）について」と、近藤隆二郎議員の「町職員の働き方改革・ワークライフバランスについて」の一般質問は取り下げられます。



「姫の松原」の松にも被害が



新型コロナウイルス対策第2弾関連補正予算も可決成立

特別委員会後の本会議の採決では、全員が認定することに賛成しました（4ページ）。

新型コロナウイルス感染症対応策などが盛り込まれた令和2年度一般会計予算及び、特別会計2会計の補正予算についても全員一致で賛成、可決成立しました（8ページ）。



監査委員の決算審査意見から審査がスタート

今回の定例会のメインは令和元年度一般会計と特別会計の歳入歳出決算書の審査、いわゆる決算審査です。特別委員会を設置し、末永一朗委員長の下、横山弘藏議長と浦英明議長選出監査委員を除く議員で慎重な審査を行いました。

また、町が出資している小値賀交通株式会社と、一般財団法人小値賀町担い手公社の経営状況について、法律に基づき、報告がありました（10ページ）。

令和元年度

数字で見る小値賀町の財政状況

財政収支（一般会計）

（△はマイナスを表す 端数処理により一部計算が合わない）

区 分	令和元年度	平成 30 年度	差 額	増減率 (%)
歳入総額	38 億 9011 万円	34 億 0714 万円	4 億 8297 万円	14.2
歳出総額	36 億 7944 万円	32 億 2199 万円	4 億 5746 万円	14.2
差引額	2 億 1067 万円	1 億 8516 万円	2551 万円	13.8
翌年度に繰越すべき財源	1 億 2578 万円	6166 万円	6412 万円	104.0
実質収支額	8489 万円	1 億 2349 万円	△ 3860 万円	△ 31.3
単年度収支額	△ 3860 万円	2280 万円	△ 6140 万円	△ 269.3

ポイント

単年度収支額の△（マイナス）・・実質収支額が黒字であれば問題ないとされています

財政の健全度を示す「健全化判断比率」の 4 つの指標

指 標	小値賀町	早期健全化基準※	簡単な説明
実質赤字比率	—	15.0	一般会計の赤字の割合（当町は黒字）
連結実質赤字比率	—	20.0	全会計を合わせた赤字の割合（当町は黒字）
実質公債費比率	5.7	25.0	年間の借金の返済額の割合（高いほど財政が不健全）
将来負担比率	—	350.0	将来の負担となる（財政を圧迫する）借金の割合 （当町では財源見込みや基金が上回るため算出されず）

早期健全化基準※・・・財政健全化の取り組みが必要になる要注意レベルを示す数字です

財政の力

財政力指数	0.10	標準的な行政サービスに係る費用を町税などの収入でまかなえる割合 指数が低い＝財源に余裕がない <u>全国でも最低レベルで注意が必要です</u>
経常収支比率	80.1%	定例的な支出が町税など定例的な収入に占める割合 75%を超えると財政的な余裕が失われているとされる

ポイント

ポイント

前年度より 0.8 ポイント上昇しており注意が必要です

自主財源と依存財源

区 分	決 算 額	割 合 (%)
自主財源	5 億 4956 万円	14.1
依存財源	33 億 4056 万円	85.9
合 計	38 億 9011 万円	100.0

（端数処理により合計が合わない）

自主財源・・・町税、分担金、負担金、使用料、手数料、寄附金、繰越金、諸収入ほか
依存財源・・・地方消費税交付金、地方交付税、国庫支出金、県支出金、町債ほか

基金と公債費

基金現在高（令和元年度末）	31 億 1247 万円	前年度より 3857 万円増えました
町 債	6 億 2529 万円	前年度より 3 億 1064 万円増えました

ポイント

基金・・・家計における預貯金に相当するものです
町債・・・家計における借入金に相当するものです

決算審査

決算審査とは、予算が適正かつ妥当に使われたのかを認定するものです。締結済みの契約などを取り消すことはできませんが、不適切・非効率なものがあれば質疑を通じて明らかにし、来年度の予算編成に反映させることができます。

～決算特別委員会での主なやりとり～

【一般会計】

唐見崎線の土地買収は順調か？



土地を買収しないと工事が進まず

問 牛市は8月から平戸へ市場統合された。宇久との家畜市場連絡協議会はどうなるのか。

答 これからも宇久との連携は必要であり、何らかの意見交換の場は設けていきたいと考えている。

問 家畜診療事業の獣医師の今後の体制は。

答 正職員の獣医師2名体制は必要だと考えている。確保に努めていきたい。

問 町道唐見崎線の道路整備に必要な土地の買収は進んでいるか。

答 買収が必要な20筆のうち買収済みは4筆。残り16筆については町外の地権者もいて、あまり進んでいないのが現状だ。

問 コロナの影響もあり、買収の交渉を外注することを考えてはどうか。

答 外注することも考えていきたい。

問 消防施設費の需用費※の不用額（予算には計上していたが、実際には支出されなかった金額）が70万円余りと大きいのはなぜか。

答 各分団ごとに需用費を管理しているため、合算するとこのような金額になってしまう。

松枯れ対策の薬剤樹幹注入の効果は？



海岸線の松を中心に薬剤を樹幹注入（浜津地区内）

※需用費（じゅうひ）

主に以下のような費用のこと

文房具などの消耗品、ガソリンなどの燃料代、会議時の飲み物や弁当代、印刷製本費、水道光熱費、備品などの修繕費など

問 松枯れが進み、風当たりが強くなって台風による牛舎の被害が大きかった。防風のための根が張る樹木を早く植林すべきだ。

答 すでに植林の事前の準備を進めている。準備が整い次第、現場に入っていく。

松が中心だが、松だけに頼らないやり方も県と相談しながら進めていきたい。

問 松枯れ対策として行っている薬剤の樹幹注入事業の効果はあるのか。

答 すべてとは言えないものの一定の効果はある。引き続き有識者の意見を伺いながら、防除事業を進めていきたい。



北松西高生が提案した取り組みです

「じげ藻ん作戦」経過は順調か？

問 鉄炭団子を使った「じげ藻ん作戦」。その後の経過は順調か。

答 3月に玉石鼻の潮だまりに投入し、月に一度状況を観察しているが、現状では特段の変化は見られない。効果が出るのに2〜3年かかると思われる、発案者の杉本幹生先生とも情報を共有しながら観察を続けていきたい。

~~~~~

**問** 岳の内調整池の上の法面のりめんが、昨年大雨で一部崩れている。このまま復旧工事をしないと、大きく崩れてしまうのではないか。

**答** すぐに危険という状況とは考えていないが、経過観察は続けていきたい。状況によっては、定点測量により変化をチェックしていきたい。

~~~~~

問 小値賀空港にある気象庁のアメダス観測データが3月途中から止まっているようだ。先日の台風の際も、データが見られなかった。

答 気象庁が3月途中で運用を休止した。アメダスの観測機器は今年度内に撤去の予定だ。

問 データがなくても町として支障はないのか。

答 庁舎でも観測を行っており、ある程度は正確だと思われる。観測データは公表していきたい。



最近も崩れた岳の内調整池の法面

生活保護の認定基準は守っているか？

問 生活保護受給者に対し、不平等感を感じている町民の声も耳にするが、生活保護の認定基準は守っているか。

答 現実的に生活保護世帯の方が所得が多いケースもあり得ないわけではなく、そのような声も耳に入ってくることもある。

基本的には、いろいろな要件から算出される生活保護費の基準額を収入が下回

れば、生活保護の申請はできる。

民生委員の意見なども聴き、ルールに則って認定している。

また、生活保護にならないよう、仕事を辞めて生活に困っている人などを対象とした生活困窮者支援事業なども行っている。

決算審査



全員マスクをつけたまま質疑を行いました

【特別会計】

◆渡船事業◆

特別会計で予備費は必要なのか？

問 毎年予備費を予算に組んでいるが、必要なのか。使った実績はあるのか。

答 平成28年度・29年度に使用している。

問 今後とも予備費を組むのか。特別会計では予備費は計上すべきではないのではないか。

答 突発的な事故などが生じた場合のことを考えると、

～参考資料～

町営船「はまゆう」「さいかい」 運航状況

欠航率 (%)	令和元年度	平成 30 年度	平成 29 年度
笛吹～大島航路	2.4	1.7	1.6
笛吹～六島航路	11.1	8.0	9.8
笛吹～野崎航路	11.2	7.8	10.0
柳～納島航路	2.7	2.0	0.6

来年度も最低限の予備費は確保しておきたい。

問 予算に計上されている船舶借上料が使われていないのはなぜか。

答 町営船「はまゆう」と「さいかい」のエンジントラブルなどがあった場合の代船借上料だが、そのようなトラブルがなかったため発生

しなかった。
問 トラブルがなかったのに前年度より欠航率が高くなったのはなぜか。

答 台風など悪天候による欠航が多かったため。

◆国民健康保険事業◆

未納額が今年度も多いが対応は？

問 予算に計上された収入のうち、期日までに納入されなかった金額が1242万円余りと今年も多い。どのように対処しているのか。

答 臨戸訪問や納税相談、金融機関の預金調査などを行っている。

問 県の徴税回収機構との連携も図りながら、徴収に努めていきたい。

問 何年前からの未納があるのか。

答 平成14年度のものがあ



問 国民健康保険の都道府県化の進捗状況は。

答 部分的にはすでに始まっている。

問 県内保険料の統一については、県は令和6年度には結論を出したいとしているが、各市町それぞれ条件が異なり、合意には至っていない状況だ。

問 都市部との医療体制の違いなどを考慮し、地域の実情に合った保険料であるべきだ。

答 統一化すると保険料が上がることも予想される。同じような考えの市町も多く、保険料の統一はなかなか難しいのではないかと考えている。

◆後期高齢者医療事業◆

納付忘れに対する対応は？

● 国保料の未納の原因として、特別徴収（年金天引き）から普通徴収（納付書または口座振替）に切り替わる際の納付忘れが多いようだが、その対応は。

● 4月に保険料賦課の計算をしないとわからない

め、事前対応が難しい。普通徴収になった人には連絡や説明をして納付をお願いしている。

◆介護保険事業◆

滞納しないような対策は？

● 毎年同じような金額が未納になっている。今の滞納者数は。

● 現年度分滞納者が8名、過年度分滞納者が19名、両方の滞納がある者が2名となっている。

● 間なぜ滞納が起こるのか。対策は。

● 答 後期高齢者医療保険事業と同じように、徴収方法が変わった人の未納が多い。パンフレットなどでわかりやすく制度説明をしながら、積極的に周知を図っていききたい。



◆下水道事業◆

クリーン^{ます}桧の清掃は自分で？

● 国合併浄化槽の清掃は業者が行っている。各戸のクリーン桧は各自が清掃することになっているが、業者にお願できないか。

● 答 下水道本体に負荷がかからないようクリーン桧（細かい調理くずや、水と一緒に流れ出た油分を分別する桧）を設置している。できれば各家庭で行っていただきたい。



年に数回は掃除を！

◆国民健康保険診療所◆

現在の医師2名体制はこれからも？

● 問 医師2名体制は維持していくのか。

● 答 安定した医療を進めていきたいので、2名体制の維持に努めたい。

数か月間の研修に急ぎよ参加することになったため、額も増えた。

● 問 旅費を予備費から充用し、額も大きく増えているのはなぜか。

● 答 新人看護師の大村市での

～参考資料～

町全体の介護認定状況（単位：人）

要介護状態	令和元年度	平成30年度
要支援1	21	27
要支援2	37	44
要介護1	45	35
要介護2	36	36
要介護3	22	20
要介護4	27	26
要介護5	16	20

令和2年度補正予算

国からの地方創生臨時交付金を基にした小値賀町独自の新型コロナウイルス感染症対応活性化・感染拡大防止策第2弾の21の事業などが、令和2年度一般会計補正予算として提案されました。

再び「いま！おぢかであつかうけん」

新型コロナウイルス対応策21事業などー億4303万円を追加補正

～主なやりとり～

◎いま！おぢかであつかうけん

問 再び小値賀町民全員にということだが、いつ頃配布するのか。
答 10月半ばになる予定だ。

◎避難所における感染症対策

問 主に台風時の避難を考えると、空調設備の暖房器具を買うより、ガラスを防災安全ガラスに交換する方が先ではないか。
答 寒い時期に何らかの災害が起こる可能性もある。

防災安全ガラスは、国土強靱化の取り組みの中で対応していきたい。

◎ウェルカムバックキャンペーン

問 観光客と帰省客を対象に宿泊費の補助を行うとのことだが、工事業者などとの区別はどのようにするのか。

答 宿の宿泊台帳によって判断する。

◎指定管理者事業継続支援金

問 IT協会942万円、MYフード90万円、担い手公社1100万円の赤字分の支援と言うが、金額の根拠は。

答 ヒアリングの結果だが、台帳などのチェックも行っていく。

◎新しい生活様式普及推進支援金

問 県が10月まで同じような支援をしているが、内容は同じか。県と重複しての申請は可能か。

答 県と同じ内容の支援だが、対象となる事業種を県より増やした。重複しての申請は認めない。

◎漁業者事業継続支援金

問 所得の減少はどうやって判断するのか。

答 影響額は、漁協の水揚げ実績の昨年度との比較による。

問 漁協に支払う手数料5%の2分の1の補助というが、個人出荷の場合は手数料が異なる。どうなるのか。

答 個人出荷でも該当する。実績に応じて対応していきたい。

◎畜産業事業継続支援金

問 子牛市場の平均価格が60万円を下回った場合に1頭1万円を交付するという施策だが、コロナ終了後も続けてはどうか。

答 コロナに特化した支援金だ。

◎漁業共済事業補助金

問 漁業共済掛金の自己負担分を上乗せ補助と言うが、農業共済掛金への補助はないのか。

答 野菜の市場価格は、コロナの明らかな影響が出ていないようなので考えていない。

問 養殖業も対象になるのか。

答 共済に加入していれば対象となる。

◎学校再開に伴う支援金

問 町立の小中学校に対する支援だが、北松西高校関連の支援はないのか。

答 高校から支援の要請があれば検討させていただく。

令和2年度補正予算

(令和2年 定例9月会議)

【一般会計】

補正して 40 億 7005 万円に

【特別会計】

国民健康保険事業	726 万円増額	4 億 9248 万円に
国民健康保険診療所	77 万円増額	8 億 9077 万円に



(令和2年 8月会議)

定例9月会議に先立つ8月18日に8月会議を開き、一般会計補正予算について審議しました。熱のこもった質疑が続きましたが、全員一致で賛成、可決成立しています。

～主なやりとり～



植栽部分の利用者は少ないようだが

補正金額が当初予算以上だ

問 前浜公園除草作業委託料は、当初予算150万円より多い170万円を追加補正するのはなぜか。

答 当初予算では、グラウンドは職員が維持管理をし、植栽部分だけの計画で委託費を計上していた。

職員の手が回らなかったため、利用者の多いグラウンド部分の草刈りを先に委託し、植栽部分は補正で対応することとした。

問 今まで委託職員がやってきた状況からすると、植栽部分だけでこの金額は高いのではないか。

答 県の基準に基づいて算定している。業者に発注すると、諸経費の関係から必然的に高くなってしまう。

問 グラウンド部分は、町所有の乗用草刈り機を貸し出せば早く終わったのでは。

答 乗用草刈り機は、草があまり伸びる前なら使えるが、今回は伸びすぎたため使えなかった。

Web会議システム導入へ

問 Web会議システムとは。

答 学校と家庭を通信システムで結び、家庭にいながら教室で行うような授業を受けられるものだ。

問 通信環境が整っていない家庭はどのように考えるのか。

答 町がタブレットなどの機器を貸し出し、その使用料を町が負担する。問 同じようにシステムを利用するのに、すでに通信環境が整っている家庭からすると、不公平感があるので。

答 今使っているインターネットサービスの通常の料金内と考えられる。

もし追加料金がかかるような場合には、検討していきたい。

問 大島分校の場合、分校の先生が分校の生徒にするのか。

答 そのとおりだが、本校との遠隔授業もしたいと考えている。

問 小中高一貫教育なのだから、高校もつないでは。

答 高校の環境が十分でないようだが、検討はしていきたい。

小値賀交通からの報告

町が出資する小値賀交通株式会社（代表取締役福崎隆一氏）と一般財団法人小値賀町担い手公社（理事長近藤進副町長）について、法律に基づき、経営状況に関する報告がありました。

主なやりとり

問 バス1台の更新時期が近いと思うが、乗降客数を考えるとバスの大きさの検討が必要では。

答 バスの大きさだけでなく、運航ダイヤなどについても今後検討していく。

問 高齢者はバス停まで行くのもつらいところがあり、社会福祉協議会が運行している有償タクシーの方を利用することが多くなるようだ。統廃合する考えはあるか。

答 町として、財政的な面から、いろいろ協議検討していきたい。

問 霊柩車も古くなってきているようだ。

答 購入後30年近く経っている。来年度以降、購入する検討をしていきたい。



1 便当たりの利用者は平均 1.5 人

～参考資料～

令和元年度バス乗降客数

（路線バス）

月	一般客	敬老バス	合計	一日当たり乗車人数	1 便当たり乗車人数
4	426	937	1,363	52	1.7
5	435	883	1,318	49	1.6
6	326	837	1,163	45	1.5
7	439	872	1,311	50	1.7
8	401	865	1,266	47	1.6
9	315	785	1,100	44	1.5
10	378	811	1,189	46	1.5
11	421	858	1,279	49	1.6
12	384	861	1,245	48	1.6
1	281	663	944	36	1.2
2	274	768	1,042	42	1.4
3	313	821	1,134	44	1.5
合 計	4,393	9,961	14,354	平均 46	平均 1.5
（前年度）	（4,750）	（11,028）	（15,778）	（51）	（1.7）

（単位：人）

（臨時運行）

月	運行回数	運行人数	平均
4	4	90	23
5	5	121	24
6	3	98	33
7	6	133	22
8	3	65	22
9	1	22	22
10	2	23	12
11	3	83	28
12	5	136	27
1	4	130	33
2	4	115	29
3	1	12	12
合 計	41	1,028	平均 25
（前年度）	（39）	（1,058）	（27）

（単位：人）

町から小値賀交通への運行費補助金

令和元年度	900 万円
令和 2 年度	900 万円

（社協には公共交通空白地有償運送事業に対して 810 万円を補助）

小値賀町担い手公社からの報告

～主なやりとり～

指導員不在が続いているが

圃研修指導員が不在の状態が続いているが、募集はしているのか。

答 今では農家での実習中心の研修をしている。地域全体を含めた指導員の確保に向けて、県にも相談しながら動いている。

圃 公益的な事業も多くしているにもかかわらず、ここ2年以上、町民向けの事業説明会などを開いていない。

答 たとえ収益事業であっても社会的ニーズはある。公益的な役割も果たしており、それを町民の皆さんに知っていただく機会を設けることは大事だと考えている。

圃 3年間続けてきた6次産業化支援事業の成果は出ているのか。

答 地域が必要とする6次産業化をどうやって進めていくか、次のステップに入っていく。

他者と連携を図りながら、むしろ公社にはプレーヤーではなく、コーディネーター的な存在になってほしい。

圃 現在、副町長が理事長だが、理事長を公募するなどして、民間企業として生まれ変われることを検討しても良いのでは。

答 平等性は確保しているものの、やりにくい面も実際にはある。

適正な人材があれば、担い手公社のためにも検討させていただきたい。



指導員は丸3年不在のまま

～参考資料～

町から公社への委託料（令和元年度）

加工品の開発業務、落花生のブランド化推進など	600 万円
ゆうきセンター（たい肥製造施設）の管理運営	488 万円
枯れ松（当年枯れ）の伐倒・焼却駆除（昨年度繰越分）	1836 万円
枯れ松（当年枯れ）の伐倒・焼却駆除	1515 万円
枯れ松（過年枯れ）の伐倒・焼却駆除	1224 万円
マツノマダラカミキリの発生状況の調査	9 万円
松枯れの被害量の調査	76 万円
あわび館の管理運営	800 万円
小値賀港ターミナル・船瀬海水浴場などの剪定・除草作業	71 万円
町内史跡9か所の草刈り	65 万円
学校が行う農業体験活動の支援	19 万円
空港敷地内の除草・清掃作業など	80 万円
合 計	6783 万円

町から公社への補助金（令和元年度）

担い手公社の農業研修事業に必要な経費の補助	630 万円
担い手公社の運営費の補助	800 万円
ICTを活用した畜産経営の省力低コスト化に必要な経費の補助	200 万円
水産加工事業に必要な経費の補助	708 万円
合 計	2338 万円

以上の他に役場職員1名が出向しています。



限界まで挑戦 崎山君 V2 達成！

(表紙の写真)
「第21回北松西高校・小値賀
中学校合同体育祭」
新型コロナウイルスの関係から開催が
危ぶまれていましたが、見学者
を家族に限定して無事開催。
台風一過の青空の下、中高生
全員が一致協力して盛り上げま
した。



いろいろな場面で役場職員の活躍が

刻々と流れる台風関連のニュー
スを見ながら、多くの町民の皆さ
んは、眠れない一夜を過ごしたの
ではないでしょうか。
台風9号では53人が、10号では
避難所を5か所に増やし、653
人が避難しました。
幸いなことに人的被害はなかつ
たようですが、この経験を次に生
かすため、議会もしっかり検証
し、提言していきたいと考えてい
ます。



台風 10 号

本会議の様様(録画) You Tube で見られます！

視聴はこちらから⇒



「ギカイの窓」受付中！

電話 0959-56-3111 役場内議会事務局
メール gikaisodan@town.ojika.lg.jp

編集 小値賀町議会広報常任委員会
発行責任者 小値賀町議会議長
電話 0959-56-3111



小値賀町議会
Facebook

い つ も マ ス ク を



ソーシャルディスタンス

編集後記

今年はコロナに始まり、
松枯れ、台風といけ好かな
い年だなど冴えない気分
で編集に勤しんでいます。
我が家は台風9号、10号
と続けて被害を受けたが、
それよりも甚大な被害は、
松くい虫による「三階松」
の変わり果てた哀れな茶色
い姿です。

様々な人が浜屋(浦家の別
名)の枯れ松を見に来て、心配
してくれています。

お前の家だけの松ではない。
小値賀の宝である松の木を枯ら
すなんて、と叱られてもいます。

お前が死んで天国に行ったら
(とは言わなかったが)先祖か
らどつかれるぞ、とも。

100年以上の昔から手入れ
してきた代々の松だから、私と
て悲しくやるせない気持ちで
いっぱいです。

〽むざんやな甲(かぶと)
す(松尾芭蕉)

〽むざんやな浜屋の庭の三階松
(浦英明)

まだ早いですが、来年は良き
年でありますよう祈念せずには
おられません。

(編集委員 浦英明)